

令和七年度 京都大学生存圏研究所 オンライン公開講座

クオリティ・オブ・ライフと サステナビリティ

参加
無料

対象：高校生以上

第一回

令和7年11月14日(金) 17:30~18:30

廃カニ殻を有効活用したナノキチンの多彩なヘルスケア効果とその実用化の取り組み



伊福 伸介 (生存圏研究所 教授)

カニ殻の主成分のキチンは豊富な未利用資源です。廃カニ殻の有効利用のため、新素材「ナノキチン」を開発しました。食べて良し、肌に塗って良し、植物に与えて良し、ベンチャーを起業して多様な機能を活用した実用化を達成できました。

第三回

令和8年1月9日(金) 17:30~18:30

生物多様性とわたしたちの暮らし



松葉 史紗子 (生存圏研究所 特定講師)

耳にする機会が少しずつ増えてきた「生物多様性」という言葉。生物多様性と聞いて思い浮かべるものは何でしょうか。本講演では、身近なつながりを手掛かりに生物多様性を紐解きながら、変わりゆく生物多様性とわたしたちの暮らしの未来を考えます。

第二回

令和7年12月5日(金) 17:30~18:30

サステナビリティに貢献する
マイクロ波加熱



三谷 友彦 (生存圏研究所 准教授)

マイクロ波加熱は、電子レンジとして日常で広く利用されていますが、最近では環境負荷の低減に繋がるエネルギー源としても注目されています。マイクロ波加熱がなぜサステナビリティと繋がるのか？マイクロ波加熱の原理や利用方法を通じて紹介します。

第四回

令和8年2月6日(金) 17:30~18:30

木材成分由来の化学製品と
サステナビリティ



岸本 崇生 (生存圏研究所 教授)

木材の主要成分は、セルロース、ヘミセルロース、リグニンという天然高分子化合物です。講演では木材の成分について概説し、それらの成分からつくられる食品添加物や工業原料など様々な化学製品について紹介します。

聴講希望の方は、右記のURLから事前登録をお願いします : <https://forms.gle/rFV28arLQ5ffmCn9>

本公開講座のウェブサイト(右のQRコードからアクセス可能) : https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/rish_koukaikouza_r7/

